

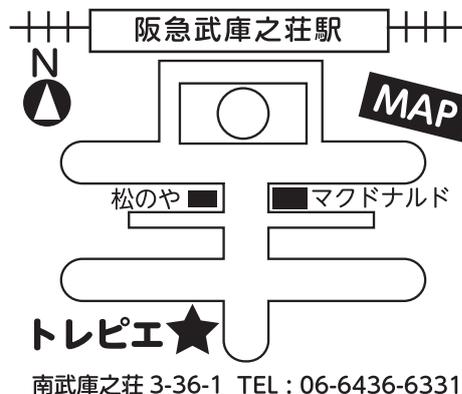
生命を生み出す母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます



第67回 尼崎母親大会



2024年 **9月1日[日]**
10:00~16:00
女性センター **トレピエ・ホール**
(阪急武庫之荘駅南 100m)
参加費：**800円**



■ 第1部 <10:00~12:00>

★ **松本市長とトーク!**

★ **「慰安婦」問題と女性の人権**

~映画で観てほしい視点も含めて~

お話：**平井美津子さん**



平井美津子さん

<プロフィール>

大阪府公立中学校教諭。大学非常勤講師。
子どもと教科書 21 事務局長。大阪歴史
教育者協議会常任委員。
著書に『教科書と「慰安婦問題」』『「慰安婦」
問題を子どもにどう教えるか』など。映画
「教育と愛国」に出演。

■ 昼食休憩 <12:00~12:45>

■ 第2部 <12:45~16:00>

- ・文化行事 ⇨ 新婦人めだかコーラスの歌
- ・運動交流のひろば『今、尼崎では・・・』

★ **映画上映「雪道」**

- ・スタンディング
(阪急武庫之荘駅南) <16:10~>

母親バザール

- ・お弁当、パン、飲み物
- ・雑貨、アクセサリ、
5本指ソックス
- ・母親物品など



どなたでも参加できます。お誘い合わせでお越し下さい。

主催：尼崎母親大会実行委員会

後援：尼崎市/尼崎市教育委員会/神戸新聞阪神総局/朝日新聞阪神支局/毎日新聞阪神支局

連絡先 安田(080-3039-1822) / 豊島(090-2113-8699 15時以降)

★ 映画上映「雪道」 ★

あらすじ

1944年、忠清南道の江景(カンギョン)という村に暮らす2人の15歳の少女。貧しい家で母と弟と暮らすチョンブン(キム・ヒャンギ)地主で裕福な家のヨンエ(キム・セロン)の兄は徴用工として強制連行され、ヨンエは女子勤労挺身隊に選抜され、日本の工場に行くことを決める。

チョンブンは、そんな運命がうらやましく思っていたところ。悪徳ブローカーに日本行きを誘われ断るが、母の居ないその夜、男たちに襲われ連れ去られる。男は日本行きと言ったが、実際にはヨンエたちとともに中国の牡丹江にある日本軍の慰安所に連行される。そこでの凄惨な日々、「獣のように生きるのは嫌!」とヨンエは自殺を試みるが、チョンブンがとめる。

2人は慰め、慰められ、耐えていく。そして、脱出の機会が訪れる。

映画「雪道」
公式ホームページ



映画「雪道」
予告動画



解説

ドラマは現代の役所で年老いたチョンブンと、ウンスという少し荒れた生活をしている女子高校生とのやりとりから始まります。老いたチョンブンが過去を回想する形でドラマは進行しますが、そこに表現される内容は、多くの日本軍慰安婦被害者の証言に裏打ちされたフィクションです。

主演が15歳の少女ということもあり、性的な描写は一切ありません。いくつもの衝撃的な映像がありますが、証言に基づくフィクションで、誇張ではなく、むしろ控えめな表現と考えた方が良いかもしれません。